

「山王中学校生徒指導通信」～「志」が宿り、「いかに生きるか」を考えるために～

## 『命の山王』

No. 2 (2018年 4月18日(水))

### 山王中とはこんな学校です！その2

学校生活も第2週となりました。(2・3年生は始業式の日がプラス1日ありますが)今回も山王中とはどんな学校なのか、について書きたいと思います。

先週から何度も全校集会が開かれています。まずは先週の水曜日に、私から生活についての話しました。学校生活についての説明と「話は目で聴く」更に「人の話をしっかりと聞いているか」「その話を理解しているか」「その話を聞いて、自分の考えや意見をもとうとしているか」などについて話をしました。

先週の金曜日には、榎岡先生から今年度の総合的な学習の大きな方針となる「全校ガイダンス」も行われました。山王中生にとって「志」とは何か、「いかに生きるか」とは具体的にどんなことなのか、を中心に実に深い内容の集会となりました。代表生徒の4人(3年・蛭田華さん、西河優さん、2年・古木郁実さん、伊藤幸陽さん)の発言も、その態度も実に素晴らしかったですし、全校生徒も真剣に聞いている姿がありました。それは単に総合的な学習の時間の説明に留まらず、各学年の主要な行事である、まんたらめ宿泊研修、修学旅行、地域職場訪問などの意義や成果なども具体的に示されていたからだと思います。下級生はこれからについて、上級生は自分たち自身の振り返りもできた時間だったと感じられました。

今週の月曜日の朝には生徒会任命式が行われました。各種委員会メンバーの返事もしっかりとしたもので、各自のやる気が表れていました。特に3年正副委員の石井学人さんが、代表して次のような素晴らしい決意表明をしてくれました。「私たちは、より高い志とやる気をもって、山王中生として地域に役立つ人間になりたいと思います。そのためにはクラスの代表として誇りと責任をもつべきだと思います。より高い志をもって、日本一の学校をつくっていきましょう。」

また、午後からは、避難経路の確認を含めた第1回目の避難訓練が行われました。全体としてはとてもよいものでしたが、今後訓練を何回も続けていくことでレベルアップしていきたいと思っています。避難場所となった竿燈広場で、生徒会長の大門勇貴さんが、山王中で毎月行っている追悼の意味や被災地の方々のことを忘れないことが大切だという話をしてくれました。私からは講評として、陸前高田市の気仙中学校の話をしました。日頃の訓練を常に真剣に取り組んでいたおかげで、被害者が1人も出なかったという話でした。ここでも全校生徒の聞く態度に真剣さを感じました。

山王中は、各クラスだけでなく、各学年と全校が一体となって進んでいく学校です。その中で1人1人がよりよく育ってほしいと思っています。様々な集会などで、たくさんのお話を聞くことで、山王中がどんな学校なのか、自分たちはどんな歩みをしてきたのか、今何を考え、これからどんな行動をとっていかなければならないのか、ということに気付いていけると思うのです。少しずつ山王中についての理解が深まってきていると感じています。

〔生徒指導主事：木内記〕

#### 観桜会に行く場合の諸注意について

千秋公園を始め、あちこちで観桜会が行われています。いくつか注意事項を書きます。

- ・中学生らしい服装や行動をすること
  - ・外出時は、行き先、同行者、帰宅時間を家族に伝えておくこと(遅くとも6時半までには帰宅する)
  - ・必要以上のお金を持ち歩かない
  - ・露天商の手伝いやまねごとをしない
- 山王中生として常に自覚ある行動をお願いします。

#### 春季大会について

4/28(土)は多くの部活が春季大会となるので、出校日としての1日とする予定です。

詳しい日程や動きは、来週各部または学年部から出される予定です。ご家庭でもご確認をお願いします。

◎山王中では通年で、お茶などを入れた水筒の持参を許可しています。理由としては、夏は熱中症、冬はインフルエンザ対策などのためです。休み時間に飲むことや飲み歩きをしないなど、ルールを守ることも指導しています。